

Town Topics

広報誌で紹介した写真またはデータを希望者に提供します。

お申し込み

情報課広報広聴係

TEL 23-3069

今年もアウルがスタート

(5月15日)



ゴールデンウィークが明け、いよいよまちの駅「アウル」がオープンしました。「美しいまち生き活きとした当別を創る会」が開催したこの日のイベントは、商工会女性部メンバーが自慢の商品を持ち寄っての「おかみさんバザール」が催され、野菜、魚、衣類、園芸用品など様々な商品が格安で販売されました。



冷たい雨にもかかわらず、大勢の町民が訪れ、会場には、おかみさんの元気の良い声が響き渡っていました。

また、ステージでは、「太美元風会」のよさこい演舞や「スキップ」による子どもジャズダンス、医療大学生によるゴスペルが行われ、4年目を迎えるアウルのオープンを盛り上げました。

アウルは10月末まで各種イベントが開かれますので、皆さんも気軽に足を運んでみてください。

歌声はれやかに 当中レディース

(4月24日)



20周年を迎える女性合唱団「当中レディースハーモニー」の記念コンサートが「ゆとろ」で開かれ、約250人が訪れました。

同団体は、昭和61年に当中生徒のお母さんで結成されて以来、毎週欠かさない練習と町内外でコンサートを行うなど町民に親しまれる活動を行ってきました。

今回のステージでは、廃校を含めた町内の全小中学校の校歌を披露し、一緒に口ずさむ観客もいるなど、終始和やかで楽しいコンサートとなりました。

火災に注意！とうべつ消防まつり

(4月29日)



今年も、春の火災予防運動にちなんで当別消防署の主催により「とうべつ消防まつり」が開催されました。

会場には、日頃から災害に備えるための防災用品や救助器材を並べた展示コーナー、わたあめやヨーヨー、ポップコーンの防火縁日コーナー、ミニ消防車での放水や消火器、水バケツを使って消火をする体験コーナーが設けられ、どのコーナーも親子連れなどたくさんの人で賑わっていました。

気合で勝負 全道中学校剣道練成会

(5月3～4日)



全道の中学生在が剣道を通して心と技を磨くことを目的に開催している「第17回全道中学校剣道練成会」が5月3・4日に総合体育館で開催されました。

今年の練成会には、66校89チームが参加し、5人編成の団体戦で行われ、試合開始の合図と共にたくさんの剣道少年たちの「面、胴」と気合の入った声が響き渡り、会場は熱気に包まれていました。

会場の外では、全道から集まった人たちに当別町をPRしようと、町観光協会、商工会女性部などが出店を開き「当別産とうきび」や「いもだんご汁」の販売を行い、「おいしい」と評判でした。

道路沿道の景観保持町民の手で

(4月22日・26日)



4月22日に、国道337号の札幌大橋から国道275号の区間約8kmをルピナスの花で飾る計画をしている「ルピナス街道景観保存会」が、沿道町内会や当別環境整備協同組合、町老人クラブ連合会など10団体、約3,000人で設立、26日には、昨年「ふくろう街道」と命名された道々当別浜益港線沿道の景観を美しくしようと「ふくろう街道景観保存会」が、沿道の町内会や建設協会、ふくろうの会など12団体、約4,200人で設立し、それぞれ総会が行われました。

総会の中で、泉亭町長は「町民が組織し美しい道路を演出することは協働していく新しい時代の素晴らしい活動」と称えました。

入学を記念して植樹祭

(5月13日)



北海道医療大学の新生約600人が道民の森青山中央地区にある「北海道医療大学の森」にエゾヤマザクラ100本を植樹しました。

青空の下で学生たちは、石狩森づくりセンター職員の指導を受け、4、5人のグループに分かれて、心を込めて植え付けました。

学生たちは、「自分が植えたサクラを将来見に来るのが楽しみ」と思いを託して植樹会場を後にしました。

元気に育って！ 稚魚を放流

(5月21日)



道民の森一番川オートキャンプ場で最近見かけなくなった「ヤマメ」を復活させようと稚魚の放流が行われ、家族連れなど100人が参加しました。

集まった参加者は、北海道森林整備公社の方から説明を受け、バケツに入った5cmくらいに育った「ヤマメ」の稚魚を次々に放流しました。

今年は、雪解けが遅れた影響で川の流れが急でしたが、優しく放流された稚魚たちは、元気に川を泳いでいました。

特色ある“学校づくり”を目指して!!

楽しい「子どもの日の会」



当別・鉄北幼稚園



例年5月5日の「子どもの日」にちなんで、みんなが元気に成長していくことを願って「子どもの日の会」を行っています。

2日に行った会では、心を込めて作った鯉のぼりを手に、にっこりと記念撮影。

その後は、ゲーム、歌、体操で体をほぐし、最後に「ちまき」と「べこもち」と「牛乳」でパーティーをして楽しく過ごしました。

ふれあい かかわりあい

当別町教育委員会
☎23-2689

新1年生の給食が スタート

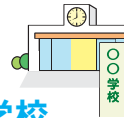


町内の小学校で新1年生の給食が始まりました。

1番早く始まった西当小では、待ちに待った給食のスタートに、大きな声で「いただきます」をしてから、おいしそうに食べていました。

特色ある学校づくり

～主体的に活動する児童会～



西当別小学校



本校では、「自分たちの生活を創造する自主的・自治的な態度及び実践力の育成」を基本方針にして、意欲的に児童会活動を行っています。

笑顔であいさつを呼びかける「おこさん運動」、これまでに車椅子2台を寄贈した実績を持つ「リングブル回収運動」、環境・美化活動に取り組む「クリーン

ン作戦」、開校50周年を記念して始まった「ときめきフェスティバル」、そして、児童会が主体的に企画・運営する集会「西小タイム」など、数多くの活動を自主的に行っています。

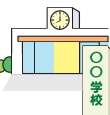
2005年度の児童会スローガンは「悲しいこともつらいことも、輝くあいさつでクリーン・リフレッシュ」です。

今後の活躍を楽しみにしてください。



わかりやすい授業をめざして

当別中学校



本校では、基礎的、基本的内容の確実な定着を目指して英語と数学でチームティーチング(TT)授業を実施しています。

生徒の初歩的な疑問やつまずきに即応することを目的に導入しましたが、徐々に成果が現れてきています。

また、選択教科では、特に数学と英語でクラスを少人数に分けて指導を行い、個人に合った学習ができるように教育課程を工夫しています。

授業の様子は、毎月学校公開日を設定し、保護者の皆さんや地域の方々に公開をしていますのでお気軽に来校してください。



たくさんの参加がありました。 「当別町地域子ども教室」

「当別町地域子ども教室」は、平成16年度に、子どもの居場所づくりと地域教育力の向上を目指して実行委員会を立ち上げ、週末には当別小学校を開放しての「サタデーキッズスクール」、平日には当別小学校に隣接する当別こども図書館で読み聞かせや読書活動を行い、全60回の開催に総勢3,000人を超える参加があり、予想を大きく上回る結果になりました。

今年度も引き続き行っていますので、皆さんの参加をお待ちしています。



バター作りに夢中

	サタデーキッズスクール	当別こども図書館	合計
内容	「ゲーム」・「スポーツ」・「憩い」の広場、「勉強」・「本読み」の部屋 「ものづくり」・「刺繍教室」など	読み聞かせ、 読書活動	
回数	30回	30回	60回
参加者	子ども 2,075 人 大人 383 人	子ども 664 人 大人 91 人	子ども 2,739人 大人 474人

総勢3,213人の参加がありました



34人が入学「ことぶき大学」



高齢者に生きがいを持って人生を送ってもらおうと開校している「ことぶき大学」で、5月11日に開校式が行われました。

「ともに集い、学び、関わり合って喜びにあふれた生きがいと仲間づくり」を今年の目標に、新たに34人の学生を迎え入れました。

総合体育館で フィットネス教室がスタート



今年から始まったフィットネス教室（5月12日）に15人が参加し、体重・体脂肪率の計測後、インストラクターからトレーニング機器の正しい使い方について指導を受けながら汗を流しました。

教室は、第2・4木曜日10時から12時で来年3月まで開きますので、お気軽に利用してください。

“食” シリーズ 給食の準備とマナー

4月27日に中小屋小学校で、学校栄養職員による給食指導を行いました。

新年度が始まったばかりなので、給食の準備にかかせない手洗い方法や簡易的に細菌のチェックができるフードスタンプを使い、手洗いが十分されているかなどを実験しました。

また、栄養職員が食事のマナーや給食のできるまでのパネルを使い説明した後、児童各自で給食目標を立て、皆で、発表し合いました。



う～ん、今年は、何をがんばるのかな・・・。



ランチルームの壁に貼っているので、毎日どうだったか確認できます。